

～教育目標「自ら きたえる」～

# 平成30年度 本田小学校 取組の紹介



夏の異常な暑さにも負けず、私たちの目を楽しませ、収穫の喜びを与えてくれた美しい花々や野菜たち。その豊かな実りとともに、子どもたちのたくさんの笑顔がうまれました。生きる力を育む「食とみどりの新発田っ子プラン」の取組を通して、食の大切さ、ふるさと本田の自然・文化・産業を体験的に学び、未来に目を向ける子どもたちの確かな成長を感じています。

今年度も、地域・保護者の皆様をはじめ、多くの方々からご支援をいただきながら、充実した教育活動を展開することができました。心より感謝申し上げます。

校長 多田 和幸

新発田市の特色ある教育の 1 つである「食とみどりの新発田っ子プラン」。具体的に取り組む内容は、以下の4つです。

- 食のサイクルに基づいた食育の推進
- 豊かな情操を培う体験的な教育活動の展開
- 地域の自然や文化を教材とした環境教育の実践
- 郷土に誇りを持ち、地域の自然・文化・産業を学ぶ体験活動の充実

本校でも上記の内容を受け、地域の特色を生かし、本田小ならではのさまざまな学習活動に取り組みました。

## 主な活動の紹介



梅の観察（3年生）



本田祭りに参加



全校遠足「ふるさと豊浦発見」



防災キャンプ（4年生）



豊浦商工会より花苗の贈呈



豊浦音頭



サツマイモの苗植え（1、2年生）



命の重さを考える日



スマイル班による花壇整備



サラダ作り（5年生）



エダマメ収穫（3、4年生）



国際理解教育（1、2年生）



食育講座



保護司による出張授業



読み聞かせ



梅ジュース作り（3年生）



豆腐作り（3、4年生）



宝来太鼓発表（5年生）



ふるさとかるた検定



職場体験（6年生）



サツマイモパーティー（1、2年生）

返す



食べる



育てる



作る

「食とみどりの新発田っ子プラン」は、食のサイクルの各段階「育てる（栽培）」、「作る（料理）」、「食べる」、「返す（リサイクル）」を学ぶ過程を経て、子どもたちが自立して生きていくために必要な力や、豊かな心を育むことをねらいとしています。

家庭科、理科、国語など全ての教科等の中から食のサイクルに関連する単元や題材を見出し、実践しています。

### 食のリサイクルに (循環) 基づいた食育

具体的なめざす子ども像

- 幼稚園・保育園年長児 「一人でごはんが炊ける子ども」
- 小学6年生 「一人て弁当を作れる子ども」
- 中学3年生 「一人て小煮物（のつべ）のある夕食一食分を作れる子ども」

## レッツチャレンジ！弁当作り(6年生)

栄養のバランスを考え、弁当を自分で作ることを目標にして取り組みました。栄養士の講義では、主食・主菜・副菜のバランスや調理の工夫、スーパーでは食材選びの仕方を教えてもらいました。学校での調理実習や3回の弁当作りを通して、調理技術がみるみる上達し、とても上手に弁当を作るようになりました。

活動後の振り返りでは、弁当作りの苦勞の他に家族への感謝やこれからの食生活の見直しに寄せた感想が見られました。



子どもたちが作ったお弁当